

事業報告書

(No. 18)

1 支援団体名	紅葉の里検討会	
2 事業名称	まだらフォーラム	
3 実施日時	平成19年6月16日～平成20年2月17日	
4 実施場所	五木村竹の川(梶原川・川辺川)、五木村池ノ鶴(五木小川)	
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>平成12年度より川辺川の支流梶原川をキャッチ&リリース区間として球磨川漁協と協力して設置した。本来の魚の棲む河川にしようと毎年、まだら(地元でのヤマメの呼称)の発眼卵放流や河川清掃、川に親しむイベント(ホタル祭りやまだらフォーラム)を開催し五木の川のPRに努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(環境整備活動)梶原川河川及び周辺清掃 ・(自然体験活動)ホタル祭り及びまだらフォーラム ・(地域交流活動)ホタル祭り(ホタル観賞会や都市住民との交流) <p>まだらフォーラム(魚釣りや川遊びによる都市住民との交流)</p>	
	<p>(実施事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業を実施した結果、公益事業の必要性について理解してもらった。 ・当活動の実施を地域住民に呼びかけた結果、当該地域の活性化に繋がった。 ・事業準備により美化啓発を行い、地域住民による活動が実施された。 ・事業実施により大人と子供・地域と来客者とのコミュニティが図られた。 ・魚、川、水とのふれあいにより子供たちの自然環境への関心が図られた。 	
6 参加内訳	総人数	295名
	(1)主催者参加	75名
	(2)日本人参加((1)を除く)	220名
	(3)外国人参加((1)を除く)	0名
7 今後の方針	<p>当事業により、地域のコミュニティーをはじめ、河川や環境への愛着や必要性が再確認され地域の活性化に繋がっている。</p> <p>少子高齢化など地域の問題は大きいですが、今後も当事業を継続することにより、より一層地域のコミュニティーや環境保持を図り、都市住民との交流の促進を継続したい。</p>	

ヤマメの放流事業



河川清掃事業

